



館 報

No.18



令和5年度

埼玉県立さきたま史跡の博物館

目 次

1	設置の目的	1
2	沿革	1
3	埼玉県立史跡の博物館の使命	3
4	事業	4
5	組織	5
6	特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員	5
7	予算	6
8	施設・設備の概要	9
9	さきたま風土記の丘	12
10	令和4年度事業報告	13
11	令和5年度事業計画	22
12	入館者数等	27
13	展示解説・ボランティア活動等	30
14	関係刊行物	31
15	企画展等	34
16	利用案内	34



特別史跡埼玉古墳群 令和5年1月撮影

1 設置の目的

県名発祥の地「埼玉」は、延喜式内社前玉神社、石田三成による忍城水攻めの遺構である石田堤、忍藩主松平家の菩提寺天祥寺など、豊かな歴史遺産に恵まれている。古くから埼玉の地の象徴とされてきた埼玉古墳群は、5世紀後半から7世紀前半にかけて築造された大型前方後円墳が集中する日本有数の大古墳群である。昭和13年には国史跡に指定され、平成元年・同25年・同30年の追加指定を経て、令和2年には特別史跡に指定された（指定面積約27.7ha）。

昭和42年には、古墳群を中心とした広い区域を確保し、その環境を整備して古墳群のよりよい保存と一層の活用を図るため「さきたま風土記の丘」を建設した。その建設計画の一環として古墳群等から出土した考古資料や郷土の民俗資料を保護・活用するため「さきたま資料館」を昭和44年に設置した。

平成16年度に県教育委員会では、県立博物館施設の再編整備計画を策定し、8つの博物館施設を専門分野別に4つのグループに再構築することとした。当館は、歴史資料館（現・嵐山史跡の博物館）とともに「史跡系博物館」グループと位置付けられた。古墳を中心とする史跡に関する資料と考古資料の収集、保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図るための博物館と明確にされた。民俗資料の博物館（現・歴史と民俗の博物館）への移動作業や館内展示改装工事を行い、平成18年4月1日から「さきたま史跡の博物館」としてリニューアルオープンした。

2 沿革

- 昭和 41 年5月 用地買収開始
- 昭和 42 年4月 さきたま風土記の丘建設事業開始（昭和 42～43 年度継続事業）
 - 11 月 二子山古墳周堀発掘調査
- 昭和 43 年8月 稻荷山古墳発掘調査
 - 11 月 二子山古墳周堀復原整備事業終了
- 昭和 44 年3月 さきたま資料館落成
 - 10 月 さきたま資料館開館
- 昭和 45 年3月 奥の山古墳周堀復原整備事業終了
- 昭和 48 年3月 民俗資料収蔵庫・ホール兼講堂落成
- 昭和 50 年2月 丸墓山古墳周堀復原整備事業終了
- 昭和 51 年3月 稻荷山古墳出土品一括県文化財に指定
 - 4月 さきたま古墳公園第1期供用開始（県道南側 93,000 m²）
 - 8月 博物館法による博物館登録（8 月 2 日）
 - 11 月 稻荷山古墳内堀復原整備事業終了
- 昭和 52 年9月 礼宮文仁親王殿下、紀宮清子内親王殿下御来館
- 昭和 53 年5月 浩宮徳仁親王殿下御来館

9月 稲荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘発見、公表
 昭和 55 年9月 収蔵展示棟落成
 11 月 収蔵展示棟開館、金錯銘鉄剣一般公開
 12 月 皇太子殿下・皇太子妃殿下行啓
 昭和 56 年6月 稲荷山古墳出土品一括重要文化財に指定
 昭和 58 年4月 「北武蔵の農具」重要有形民俗文化財に指定
 5月 天皇陛下行幸
 6月 稲荷山古墳出土品一括国宝に指定
 昭和 59 年3月 稲荷山古墳礫櫛復原整備事業終了
 昭和 60 年3月 稲荷山古墳保存整備事業終了(昭和 57～59 年度事業)
 昭和 63 年3月 丸墓山古墳保存整備事業終了(昭和 60～63 年度事業)
 3月 行田市所有の古墳 6 基、県に譲与
 平成3年9月 移築民家(山崎家)曳家整備終了
 平成4年3月 瓦塚古墳保存整備事業終了(昭和 63 年～平成 3 年度事業)
 平成6年3月 県内古墳詳細分布調査事業終了(平成元～5 年度事業)
 平成9年3月 将軍山古墳保存整備事業終了(平成 3～8 年度事業)
 4月 将軍山古墳展示館開館
 平成 10 年 11 月 稲荷山古墳発掘調査 30 周年・金錯銘発見 20 周年記念事業開始
 平成 15 年9月 稲荷山古墳鉄剣発見 35 周年記念講演会
 平成 16 年7月 入館者数累計 500 万人突破
 平成 18 年3月 企画展示室改修工事竣工
 4月 行田県土整備事務所より古墳公園の委譲移管(235,000 m²)
 4月 さきたま史跡の博物館リニューアルオープン
 平成 19 年2月 「日本の歴史公園 100 選」に選定
 3月 稲荷山古墳前方部復原整備事業終了(平成 12～18 年度事業)史跡埼玉古墳群保存整備基本計画策定体験工房完成
 平成 20 年5月 行田県土整備事務所より公園用地拡張移管供用開始(5.7ha)
 平成 21 年3月 本館全体改修及び耐震補強工事竣工
 10 月 秋篠宮殿下、同妃殿下御来館
 平成 23 年7月 行田県土整備事務所より公園用地拡張移管供用開始(55,000 m²)

平成 24 年5月 奥の山古墳周堀復原整備事業終了(平成 21～24 年度事業)
 4月 行田県土整備事務所より公園用地拡張移管供用開始(641 m²)
 平成 26 年3月 入館者累計 600 万人突破
 平成 29 年3月 稲荷山古墳礫櫛陶板整備事業終了(平成 26～28 年度事業)
 平成 30 年2月 将軍山古墳展示館改修工事竣工
 4月 宮繕・公園事務所より公園用地拡張移管供用開始(1,098 m²)
 平成 31 年2月 埼玉古墳群史跡指定 80 周年・稲荷山古墳発掘調査 50 周年・鉄剣銘文発見 40 周年記念講演会
 3月 史跡埼玉古墳群保存活用計画策定
 令和元年 10 月 宮繕・公園事務所より公園用地拡張移管供用開始(20,000 m²)
 令和2年3月 特別史跡指定(3 月 10 日付け官報告示)
 令和4年3月 奥の山古墳周堀整備事業終了(平成 31・令和元～3 年度事業)
 令和4年3月 特別史跡埼玉古墳群整備基本計画策定
 令和5年4月 宮繕・公園事務所より公園用地拡張移管供用開始(24,260 m²)

3 埼玉県立史跡の博物館の使命

県立史跡の博物館は、特別史跡「埼玉古墳群」及び国指定史跡「比企城館跡群 菅谷館跡」の保存と整備・活用を図ることにより、県民に快適な歴史空間を提供する。

また、埼玉の考古資料の収集保管・調査研究・展示公開・普及啓発等を行い、県民の多様な学習意欲に応え、心豊かな県民意識の醸成と新たな文化の創造に寄与する。

【さきたま史跡の博物館】

さきたま史跡の博物館は、特別史跡「埼玉古墳群」及び国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」をはじめとする貴重な文化財を将来にわたって確実に保存、管理し、その活用を図る。

また、埼玉の歴史を彩る数々の史跡や遺跡、また関係する資料の収集・保管・調査研究を進めることを基本的使命とする。

- (1) 埼玉古墳群の調査を進め、史跡整備を継続、推進するとともに、稲荷山古墳から出土した「金錯銘鉄剣」をはじめとする出土品を、安全に公開していく。
- (2) 9基の古墳を中心とした 42.0 万 m²の古墳公園を、来園者の方々が安心して利用いただけるよう維持・管理し、いにしえのロマンを感じてもらえる快適な史跡空間として提供していく。
- (3) 埼玉古墳群をはじめとする県内の史跡や遺跡、考古資料に関する総合的な博物館として、関係資料の収集、保管、調査、研究を進め、各市町村等と連携しながらその成果を企画展や講演会等で公開する。

- (4) 埼玉古墳群や館有資料などを、生涯学習や学校教育において広く活用する事業を積極的に展開する。
- (5) 史跡の博物館として、県内の史跡や遺跡の調査・保存・活用について、市町村等が実施する事業を支援する。

4 事業

当館は、目的達成のために次の事業を行う。

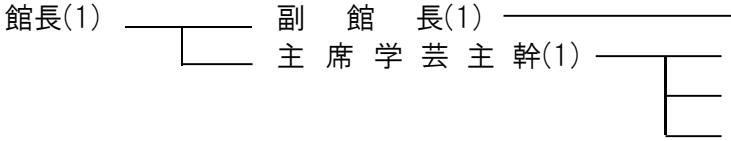
- (1) 埼玉古墳群を中心にその周辺から出土した考古資料の保管・展示を行う。
- (2) 考古資料に関する専門的かつ技術的な調査研究を行い、報告書、図録等を刊行する。
- (3) 考古資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催する。
- (4) 埼玉古墳群の調査研究及び整備を行う。
- (5) さきたま古墳公園の管理を行う。
- (6) 埼玉古墳群や館有資料を、生涯学習や学校教育に生かす学習支援活動を行う。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策としてのまん延防止等重点措置が終了した(令和4年3月22日)ことを受け、感染拡大防止対策を講じながらの運営となった。①マスク着用(令和5年3月12日まで)や手指消毒、検温など来場者の感染防止対策、②諸設備の消毒、施設スタッフの体調管理の徹底、③三密を回避するための入場制限(学校団体の一クラスごとの展示室入室)や社会的距離を確保する(講座における座席数の削減)等の感染防止対策を行った。

また、二子山古墳の後円部墳頂において、2か所の人為的なき損(掘削)が確認された(令和5年1月26日)。

5 組 織

(1) 組織表(職員 20 名、会計年度任用職員 3 名)



総務・公園管理担当(8)(会計年度任用職員 3 名を含む)
 広報・学習支援担当(5)
 資料・展示担当(4)
 史跡整備担当(3)

(2) 職員名簿

館 長	栗 岡	真理子	(兼)	(広報・学習支援担当、資料・展示担当、史跡整備担当)
副 館 長	小 林	裕 一		主席学芸主幹 佐 藤 康 二
(総務・公園管理担当)				(広報・学習支援担当) 担当課長 山 本 麻理子
担当部長	金 子	隆		担当課長 黒 瀬 玲 二
担当課長	渡 辺	優	(兼)	学 芸 員 青 笹 基 史
担当課長	鈴 木	文 之		主 事 杉 山 高 志
主 事	新 井	亮 平		学 芸 員 田 中 咲 羽
主 事	浅 見	将 巳		(資料・展示担当) 学 芸 員 中 井 歩
会計年度任用職員	新 井	敏 夫		主任専門員兼学芸員 水 口 由紀子 (兼)
会計年度任用職員	青 木	重 二		主任専門員兼学芸員 君 島 勝 秀
会計年度任用職員	益 田	忠 浩		学 芸 員 川 又 奈津記
				(史跡整備担当) 学 芸 員 宮 原 正 樹 (兼)
				学 芸 員 吉 田 修太郎
				学 芸 員 宇 高 美友子

※(兼)は、嵐山史跡の博物館との兼務職員

6 特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員(50 音順 令和5年4月現在)

石 島 きく江	(行田市文化財保護審議委員)	井 上 尚 明	(立正大学文学部講師)
佐 藤 信	(東京大学名誉教授)	滝 沢 誠	(筑波大学人文社会系教授)
高 久 健 二	(専修大学文学部教授)	田 中 裕	(茨城大学人文社会科学部教授)
森 田 好 一	(元秩父県土整備事務所長)	若 狭 徹	(明治大学文学部教授)

7 予 算

(1) 令和5年度当初予算

ア 運営費関係

さきたま史跡の博物館管理費 43,947 千円

さきたま古墳公園管理費 104,382 千円

イ 特定事業費関係

特別史跡埼玉古墳群保存活用事業(国交付決定事業費) 8,960 千円

(2) 予算の推移

ア 建設費

(千円)

年 度	事 業	予 算
昭和 42～43	さきたま風土記の丘建設費(園路造成、古墳整備、資料館建設、周堀復原、民家移築等)	83,670
47	さきたま資料館増築費	50,000
54～55	さきたま資料館収蔵展示棟建設費	236,285
平成 5	さきたま資料館玄関ホール改修費	49,272
5～8	将軍山古墳展示館建設費	98,450
17	企画展示室改装工事	69,738
18	情報・体験学習室整備費	21,841
19	移築民家屋根等改修工事	15,176
20	本館全体改修及び耐震補強工事	170,207
29	将軍山古墳展示館改修工事	28,640

イ 整備費

(千円)

年 度	事 業	予 算
昭和 42～53	さきたま古墳公園整備(奥の山古墳周堀復原、丸墓山古墳周堀復原、稻荷山古墳内堀復原、公園整備)	205,178
53	稻荷山古墳出土品保存処理	3,070
54	金錯銘鉄剣恒久保存処理	3,126
54～55	資料館整備費(鉄剣等展示ケース製作及びディスプレイ)	61,289
	金錯銘鉄剣レプリカ製作	9,741

54～58	さきたま古墳公園整備	192,443
57～59	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳)	30,000
60～62	埼玉古墳群保存整備(丸墓山古墳)	30,000
昭和 63～平成 3	埼玉古墳群保存整備(瓦塚古墳)	41,104
平成 2	埼玉古墳群出土品複製(馬冑復原、水鳥埴輪レプリカ)	4,180
2～3	埼玉古墳群保存整備(二子山古墳)	6,240
3	埼玉古墳群保存整備(旧山崎家曳家整備)	10,273
3～8	埼玉古墳群保存整備(将軍山古墳)	290,727
9～18	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳)	159,838
19	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳)	13,800
20	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳、範囲確認調査)	23,406
21	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳、範囲確認調査)	26,105
22	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳・鉄砲山古墳調査、周辺確認調査)	37,073
23	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、鉄砲山古墳調査、周辺確認調査)	43,577
24	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、鉄砲山古墳調査、周辺確認調査)	23,320
25	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳報告書二子山古墳整備、二子山古墳・鉄砲山古墳調査、周辺確認調査)	29,642
26	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳礫櫛模型改修、二子山古墳整備、鉄砲山古墳調査、補足調査)	26,769
27	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳礫櫛模型改修、二子山古墳・鉄砲山古墳調査、補足調査)	23,622
28	埼玉古墳群保存整備(稻荷山古墳礫櫛模型改修、丸墓山古墳安全対策、二子山古墳、鉄砲山古墳調査)	15,809
29	埼玉古墳群保存整備(二子山古墳調査、丸墓山古墳安全対策、保存活用計画策定)	17,067
30	埼玉古墳群保存整備(二子山古墳調査、丸墓山古墳安全対策、奥の山古墳調査、保存活用計画策定)	13,878
令和元	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、鉄砲山古墳調査報告書刊行)	11,736
2	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、二子山古墳調査整理、整備基本計画策定)	10,772
3	埼玉古墳群保存整備(奥の山古墳整備、二子山古墳調査整理、整備基本計画策定、愛宕山古墳調査)	12,629
4	埼玉古墳群保存整備(二子山古墳報告書刊行、奥の山・丸墓山古墳整備報告書刊行、案内・解説板整備)	11,054

ウ 発掘調査・報告書刊行費

(千円)

年 度	事 業	予 算
昭和 48	丸墓山古墳、稻荷山古墳周堀調査	3,163
49	天王山、梅塚古墳他周堀、二子山古墳外堀調査	3,628
54～56	稻荷山古墳発掘調査整理、報告書刊行、辛亥銘鉄剣修理報告書刊行	15,270
54～57	埼玉古墳群発掘調査	24,046
58～59	さきたま風土記の丘発掘調査	14,000
59	図録「北武蔵の農具」刊行	5,485
60～63	さきたま風土記の丘発掘調査	30,000
63	歴史の道調査	4,000
平成元～5	古墳詳細分布調査	19,199
8	将軍山古墳《史跡埼玉古墳群整備報告書》「確認調査」編・付編及び「保存・整備工事」編	3,246
18	稻荷山古墳発掘調査・保存整備事業報告書	1,650
25	奥の山古墳整備報告書・保存整備事業報告書	1,528
29	史跡埼玉古墳群総括報告書Ⅰ	1,128
30	稻荷山古墳礫槨模型設置事業報告書	240
令和元	鉄砲山古墳発掘調査報告書	1,320
令和4	二子山古墳発掘調査報告書	1,702
令和4	丸墓山古墳・奥の山古墳整備事業報告書	231

エ 管理運営費

(千円)

年度	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
予算	90,308	110,192	104,032	103,941	111,671	110,555	110,937	112,422	116,110
	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5				
	120,193	132,122	136,705	126,895	148,329				

8 施設・設備の概要

(1) さきたま史跡の博物館

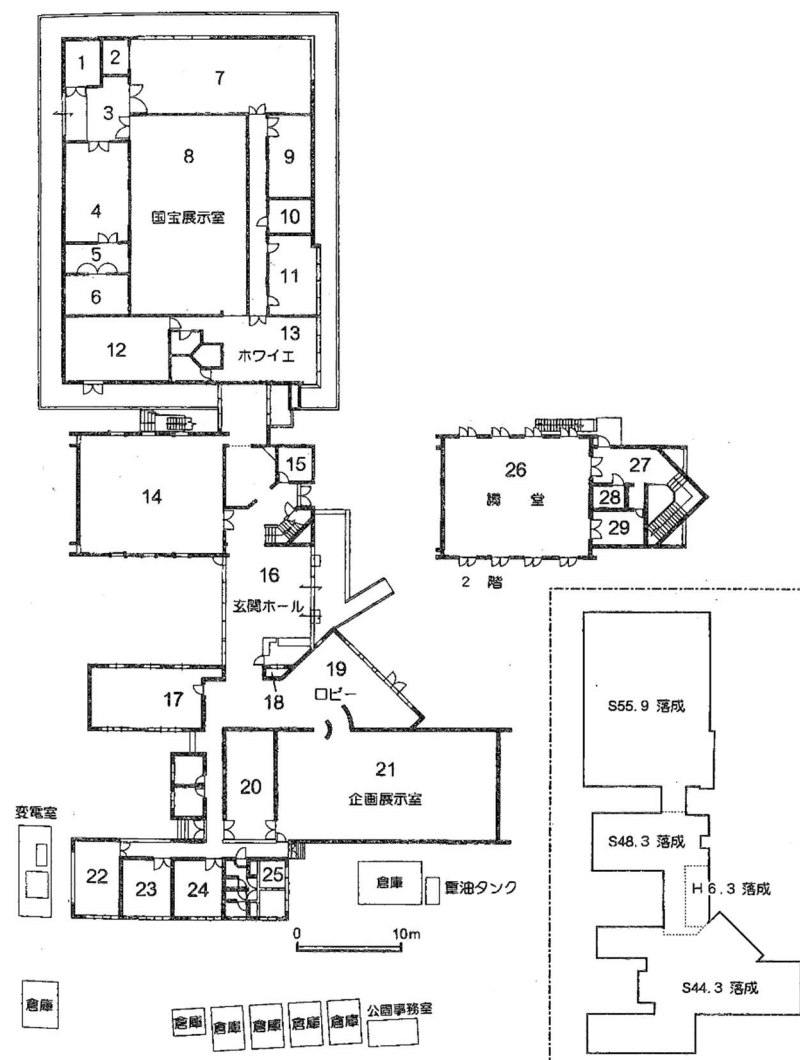
所在地 埼玉県行田市大字埼玉4834

敷地面積 42.0ha(古墳公園を含む)

建築面積 2,151.65 m²(本・新館 1,776.54 m² 移築民家 207.27 m² 機械室・車庫等 167.84 m²)

延床面積 2,386.58 m²(本・新館 2,011.47 m² 移築民家 207.27 m² 機械室・車庫等 167.84 m²)

構造 本・新館 鉄筋コンクリート造り 一部2階建て／移築



番号	室名	面積(m ²)	番号	室名	面積(m ²)
1	機械室 1	16.10	16	玄関ホール	96.02
2	倉庫 3	9.36	17	事務室	64.80
3	搬入荷解室	34.32	18	資料庫	2.88
4	考古資料収蔵庫	64.66	19	ロビー	119.60
5	前室	13.42	20	文書庫	51.84
6	特別収蔵庫	25.62	21	企画展示室	224.64
7	学芸室	124.10	22	ミーティング室	32.01
8	国宝展示室	214.50	23	図書室 1	27.36
9	図書室 2	33.16	24	館長室	23.36
10	保管庫	15.12	25	管理室	34.20
11	会議室	36.71	26	講堂	155.25
12	機械室 2	63.05	27	2階ロビー	22.02
13	ホワイエ	92.16	28	倉庫 2	7.68
	その他	59.79	29	準備室	17.82
	(新館計)	(802.07)		その他	162.76
14	さきたま休職工務	155.25		(本館計)	(1,209.40)
15	倉庫 1	11.88		合計	2,011.47

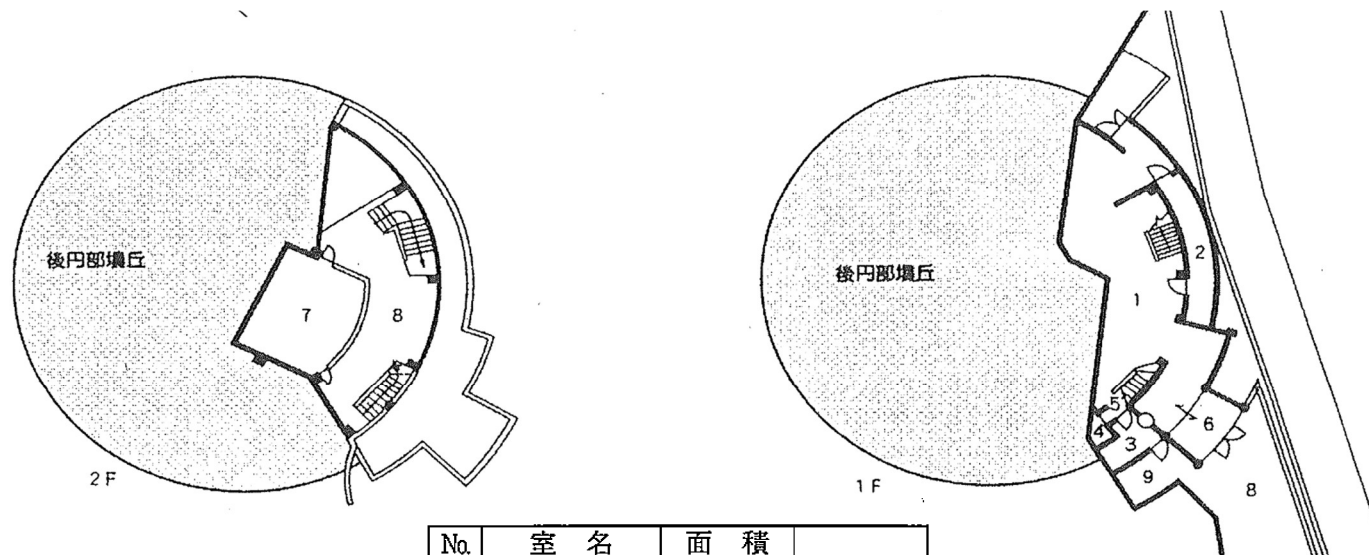
(2) 将軍山古墳展示館

所在地 埼玉県行田市大字埼玉159

建築面積 210.24 m²

延床面積 267.74 m²

構造 鉄筋コンクリート造り2階建て



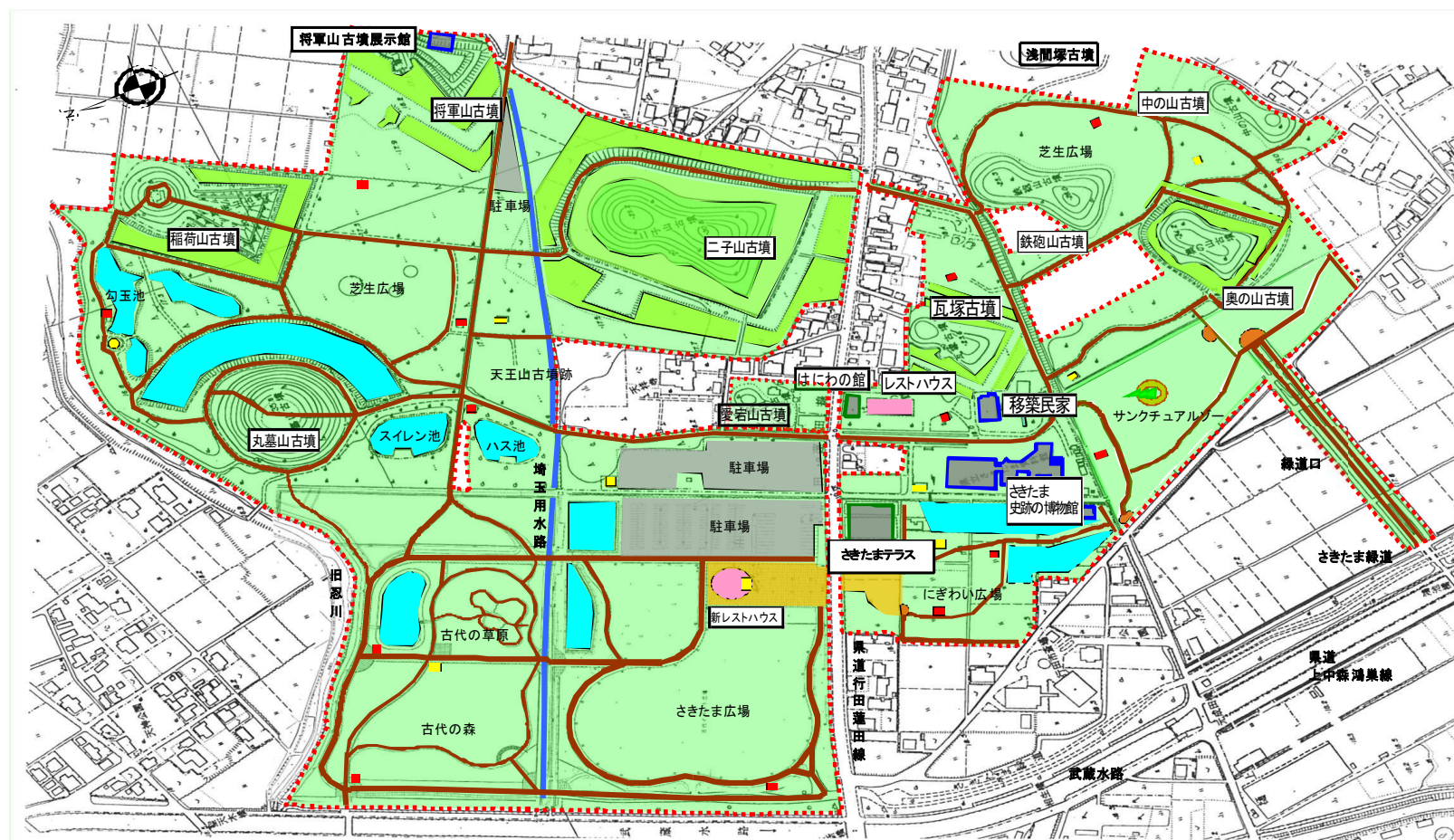
No.	室名	面積	
1	1 F展示室	109.36㎡	148.35㎡
2	倉庫	16.88㎡	
3	事務室	8.28㎡	
4	トイレ	1.35㎡	
5	前室	2.18㎡	
6	風除室	10.30㎡	
7	2 F展示室	74.47㎡	119.39㎡
	石室展示室	44.92㎡	
8	外構 ポーチ スロープ他	111.18㎡	121.48㎡
9	機械置場	10.30㎡	
		合計	389.22㎡

(3) 古墳公園内の主な施設

レストハウス…屋根付きのオープンスペースで、6人掛けテーブルが29脚と20脚の2か所がある。

はにわの館…行田市の外郭団体である(一社)行田おもてなし観光局が指定管理者として運営する施設で、「はにわづくり」の体験ができる。

観光物産館さきたまテラス…行田市の外郭団体である(一社)行田おもてなし観光局が指定管理者として運営する施設で、地場産品、軽食、カフェの販売をしている。



博物館等施設

大型休憩舎(レストハウス) 2箇所

四阿(あずまや)等 13箇所

公園内トイレ 9箇所



公園区域

駐車場 3箇所

園路



R5.4.1

9 さきたま風土記の丘

埼玉古墳群は、昭和13年8月8日に国の史跡に指定された。かつては小円墳等を含む古墳群であったが、明治から大正期の開墾によって小古墳の多くが失われ、指定範囲内には、現在8基の前方後円墳と1基の大型円墳が所在している。

昭和41年、埼玉県では、文化庁策定の「風土記の丘」建設構想に基づき、全国に先駆けて“ふるさと埼玉”のシンボルとして、埼玉古墳群を県直営の史跡公園「さきたま風土記の丘」とするため、建設計画を立て事業に着手した。さきたま風土記の丘建設計画は、用地買収・復原整備・環境整備・園路造成・資料館建設・展示資料整備を柱とするもので、県名発祥の地にふさわしい広域整備を目指したものであった。

昭和53年、稲荷山古墳から出土していた一振りの鉄剣から115文字の金錯銘文が発見され、学界のみならず国内外の注目を集めると、鉄剣を含む稲荷山古墳出土遺物は昭和58年に国宝に指定され、資料館を拡充して「国宝展示室」を新たに設置した。

その後、平成9年にはさらなる整備拡充を目指し、97ヘクタールの都市計画決定を行った。拡張区域については順次整備を進め、令和4年度末現在で、42.0ヘクタール(特別史跡指定面積は277,295.5㎡)が公園として整備され供用されている。

なお、従来は古墳部分については県教育委員会、その他の部分は県北部公園事務所(後に事務所の廃止に伴い、県行田県土整備事務所)が管理を担っていたが、平成18年度からは公園部分の維持管理が県都市整備部から県教育委員会に移管となり、古墳群を含めた公園全体の管理を当館で行っている。

整備が進められている拡張区域において、行田市による飲食物販施設の設置が計画される。これに伴い、令和4年8月1日付けで拡張区域のうち2,996.25㎡について都市整備部から移管され、供用を開始、併せて、行田市に対して使用許可を行った。

さらに、21,263.95㎡の移管を受け、令和5年4月1日に、にぎわい広場(24,000㎡)として供用を開始、行田市物販施設(さきたまテラス)も同日開業する。



にぎわい広場



行田市飲食物販施設「さきたまテラス」

10 令和4年度事業報告

(1) 展示事業

ア 常設展示

(a) 国宝展示室

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」を中心として、埼玉古墳群と周辺地域の出土品の展示のほか、埼玉県古墳文化を理解する上で必要な関係資料を展示した。



(b) 将軍山古墳展示館

将軍山古墳頂上部分と中段に埴輪(復原模型)を並べ、築造当初の古墳の様子を復原するとともに、館内の横穴式石室内部に出土遺物(復原模型)を展示して、埋葬当時の様子を再現した。



将軍山古墳展示館 石室復元展示

イ 企画展示

① テーマ展「埼玉の遺跡 鴻巣市新屋敷遺跡—埴輪工人の奥津城—」

期間:4月1日(木)~5月29日(日) 52日:12,232人

内容:鴻巣市に所在する新屋敷遺跡から発掘された各時代の資料を紹介するとともに、埼玉古墳群の成立に大きく関わった埴輪工人の姿を出土資料などから考察した。



② 埼玉の考古おひろめ展「地中からのメッセージ」

期間:7月16日(土)~9月4日(日) 46日:10,149人

内容:全国最多の子持勾玉が出土したことで話題となった行田市北大竹遺跡を中心に、令和4年度までの発掘調査で出土したもの、整理作業が終了したもの、近年学術的に注目されているものなどを紹介した。



③ 企画展「家形埴輪」

期間:10月8日(土)～11月27日(日) 47日:9,928人

内容:家形埴輪の種類とそこから考えられる建物、埴輪から推察できる豪族の館の様子や、一般の竪穴住居の暮らしなどについて考察した。

④ ほるたま展2022「埴輪男子」(公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催事業)

期間:12月17日(土)～2月5日(日) 40日:4,721人

内容:より多くの資料を揃えて、古墳時代の男性の職業やファッションを紹介。あわせて、埴輪の製作技法を考える展示も行った。

⑤ テーマ展「埼玉の遺跡 「東松山市反町遺跡―時代を彩る職人のムラ―」

期間:令和5年2月25日(土)～3月31日(金) 30日:3,788人

内容:東松山市反町遺跡から出土した各時代の特徴ある資料を紹介しながら、当時の生活を彩る道具や装飾品の製作に携わった人々の暮らしについて考察した。



ウ ギャラリー展示(パネル展示)

① 「愛宕山古墳のレーダー探査」

期間:4月1日(金)～11月28日(月)

内容:早稲田大学と共同で実施した愛宕山古墳の測量・レーダー探査の成果を紹介した。

② 企画展関連「家形埴輪コレクション」

期間:11月29日(火)～令和5年3月19日(日)

内容:企画展に関連して、家形埴輪の写真を紹介した。



(2) 調査研究事業

史跡に関する資料、その他の考古資料の調査研究を行った。特に、埼玉古墳群とその周辺の前古墳時代の実態を明らかにするための調査研究を行った。それらの成果を紀要第16号にまとめ、刊行した。

(3) 資料の調査・収集・整理・保管事業

博物館本館施設の中間改修工事を令和5年度に控え、また、災害時における国宝の安全性を確保する観点から、国宝金錯銘鉄剣について、一時保管するための保存ケースを製作した(令和5年3月31日)。

ア 資料の収集

埼玉古墳群及び県内の史跡等に関する資料を収集した。

イ 資料の保管・管理

国宝「武蔵埼玉稻荷山古墳出土品」等の保存・保管のため、収蔵庫・展示室等の有害生物管理及び資料点検等を行った。また、下記の期間に館内で有害生物防除を行った。

実施期間:6月14日(火)～15日(水)



国宝金錯銘鉄剣用一時保存ケース



(4) 埼玉古墳群の保存・整備事業

ア 保存・整備

埼玉古墳群の保存と整備に関して、特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会を開催した。

二子山古墳発掘調査報告書の刊行、案内・解説板の整備(鉄砲山古墳・中の山古墳解説板設置他)を実施した。



発掘調査報告書・整備報告書



鉄砲山古墳解説板



中の山古墳解説板

イ シンポジウム「特別史跡埼玉古墳群のこれから」 令和5年3月11日(土) 254人

「地域における特別史跡埼玉古墳群」をテーマに、これまで埼玉古墳群に携わってきた講師と行田市をはじめとする地域の方々と共に、これからの保存と活用について考えた。

講演 佐藤信氏 (東京大学名誉教授)

「古代史研究と埼玉古墳群」

関義則氏 (元埼玉県立さきたま史跡の博物館長)

「埼玉村古墳群から埼玉古墳群へ」

禰宜田佳男氏 (大阪府立弥生文化博物館長)

「国指定史跡から特別史跡へ 持続可能な特別史跡埼玉古墳群について考える」

報告 宮原正樹 (当館学芸員)

「特別史跡埼玉古墳群—最新の発掘調査と史跡整備—」

シンポジウム 司会 栗岡真理子(当館館長) パネリスト 佐藤信氏、禰宜田佳男氏、関義則氏、中島洋一氏(行田市教育委員会文化財保護課長)



報告の様子



シンポジウム総合討議の様子



(5) 広報・学習支援事業

ア さきたま古代体験(親子向け)

「まが玉づくり」.....4月2日(土)～3月30日(木)【6,595人】

「火おこしに挑戦」.....9月19日(月)【中止】

イ さきたま古代体験(子供製作体験)

「自分の好きな色にまが玉を染めよう」・

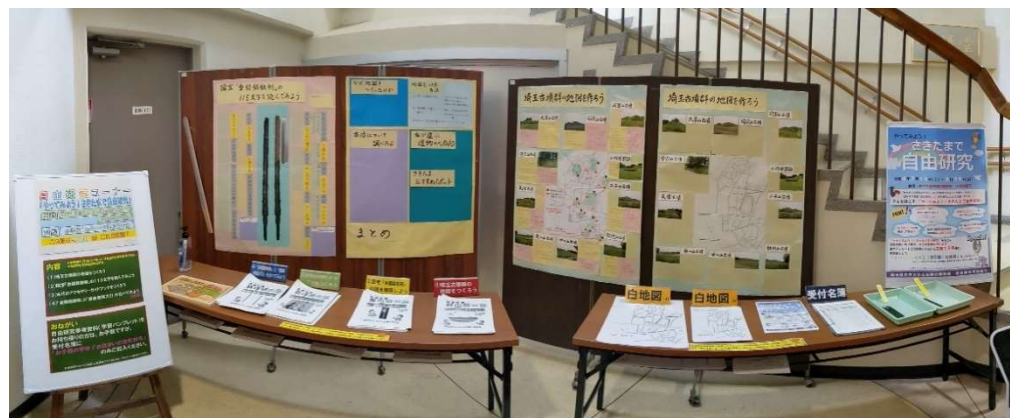
.....7月16日(土)【52人】・17日(日)【78人】

「オリジナル埴輪を作ろう！」

.....7月23日(土)【20人】・24日(日)【34人】



ウ 自由研究コーナー「やってみよう！さきたま自由研究」.....7月16日(土)～8月28日(日)【846人】 ※HPでのダウンロードを含む



自由研究コーナー 館内掲示



エ 古墳群ガイドツアー

.....9月10日(土)【12人】・10月30日(日)【16人】
 11月12日(土)【17人】・12月10日(土)【12人】
 1月14日(土)【14人】・ 2月11日(土)【29人】

オ キッズ古墳群ガイドツアー

.....5月5日(木)【26人】・3月5日(日)【16人】



カ 企画展ガイドツアー.....10月9日(日)【16人】・11月6日(日)【17人】

キ おひろめ展ガイドツアー..... 7月24日(日)【19人】・8月21日(日)【11人】

ク テーマ展ガイドツアー.....3月12日(日)【14人】

ケ さきたま講座

6月25日(土) 考古学講座「埼玉古墳群におけるレーダー探査 -遺跡の非破壊調査の方法と実践」
 ナワビ矢麻(当館学芸員)【35人】

7月31日(日) 企画展関連講座「行田市北大竹遺跡の発掘調査成果-わくだまとさきたまの祭祀を探る-」
 渡邊理伊知(公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 調査部調査第一課主任)【43人】

9月11日(日) 考古学講座「古墳はなぜつくられたのかー巨大前方後円墳の出現を考えるー」
 青木 敬(國學院大學教授)【40人】

11月13日(日) 考古学講座「生出塚埴輪窯出土の家形埴輪から」
 山崎 武(元鴻巣市教育委員会 生涯学習課副参事)【38人】

12月11日(日) 考古学講座「行田市の日本遺産とさきたま古墳群」
 中島 洋一(行田市教育委員会 文化財保護課長)【31人】



コ さきたま子供講座.....5月7日(土)【15人】・7月18日(月・祝)【11人】・8月6日(土)【4人】

サ 中高生のための考古学講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8月7日(日)【3人】



シ 史跡探訪「行田市内の史跡を巡る」
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11月19日(土)【20人】



ス 連携事業

5月21日(土) 世界遺産関連講座「埼玉古墳群と東アジア」

高久 健二(専修大学文学部教授)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【31人】



セ 県民の日記念行事

11月14日(月) さきたま秋祭り……「入館者(本館)」【541人】・「入館者(将軍山)」【127人】・まが玉づくり体験【88人】

「さきたまウルトラクイズ」【28人】・「埼玉古墳群に隠された謎を解け」【140人】・「埼玉古墳群ガイドツアー」【32人】



ソ 出前授業

「なるほど！古墳時代」〈北埼玉地区〉……………6月10日(金)～7月14日(木)【23校・1044人】

「なるほど！古墳時代」〈全県〉……………12月14日(水)・2月16日(木)【2校・111人】

「作ってみよう！わたしだけのオリジナルまが玉」……………5月17日(火)・9月1日(木)・9月27日(火)・9月28日(水)・10月18日(火)

10月20日(木)・11月9日(水)・11月25日(金)・12月6日(火)12月16日(金)【10校 604人】

「作ってみよう！わたしだけのオリジナルはにわ」……………11月11日(金)・11月29日(火)・1月17日(火)・1月25日(水)【4校 242人】

「古墳時代へタイムスリップ！」……………10月11日(火)・11月22日(火)・2月21日(火)【3校 130人】

「オンライン」……………11月8日(火)【1校 109人】



タ その他のアウトリーチ事業

総合教育センター 一般公開外部機関展示 ※ 総合教育センター内での展示ではなくホームページ上での資料公開

チ 実習・研修会・報告会・見学会

県政出前講座……………5月11日(水)【17人】・7月7日(木)【17人】・8月23日(火)【86人】・10月20日(木)【17人】
 10月25日(火)【19人】・11月29日(火)【26人】・1月19日(木)【134人】
 博物館実習……………7月19日(火)～22日(金)・26日(火)～27日(水)【11人】
 特別支援学校初任者研修 地域交流体験研修……………7月23日(土)【3人】・7月24日(日)【3人】
 行田市小・中学校初任者研修 施設体験研修……………7月29日(金)【中止】
 埼玉県小学校中堅教諭等資質向上研修(教科指導)……………8月2日(火)【24人】
 教員のための博物館の日……………8月18日(木)【1人】
 講演……………8月21日(日)【38人】・9月22日(木)【29人】
 大学生社会体験活動……………10月12日(水)～14日(金)【2人】
 中学生職場体験実習……………10月26日(水)～28日(金)【2人】・11月29日(火)～30日(水)【中止】
 ミュージアムフォーラム ……1月21日(土)【73人】※オンライン参加含む

利用方法	資料貸出	フィルム貸出	撮影	写真等の転載	熟覧その他	合計
件 数	30	205	25	0	47	307

11 令和5年度事業計画

埼玉古墳群、関連資料及び県内の考古資料の展示などを行い、利用者の郷土埼玉に対する一層の理解を深めると共に、古墳群の歴史的意義の解明と特別史跡「埼玉古墳群」の保存と活用に努める。

(1) 展示事業

ア 常設展示(～R5.8.31)

(a) 国宝展示室

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」を中心として、埼玉古墳群とその周辺の出土品の展示のほか、埼玉県の高墳文化を理解する上で必要な収蔵品等の関係資料を展示する。

(b) 将軍山古墳展示館

将軍山古墳頂上部分と中段に埴輪(復原模型)を並べ、築造当初の古墳の様子を復原するとともに、館内の横穴式石室内部に出土遺物(復原模型)を展示して、埋葬当時の様子を再現する。

イ 企画展示

(a) テーマ展 埼玉の遺跡 東松山市反町遺跡 一時代を彩る職人のムラ

期間:4月1日(土)～5月28日(日)

内容:東松山市反町遺跡から出土した各時代の特徴ある資料を展示しながら、当時の生活を彩る道具や装飾品の製作に携わった人々の暮らしについて紹介する。

(b) 企画展「二子山古墳と祈りの器」

期間:7月15日(土)～8月31日(木)

内容:二子山古墳の発掘調査成果とともに、古墳で行われた祭祀、特に土器を用いた祭祀について紹介する。

ウ ギャラリー展示(パネル展示)

埼玉古墳群の調査成果や展示に関連した内容について紹介する。

(2) 調査研究事業

ア 史跡に関する資料、その他の考古資料の調査研究

特に、埼玉古墳群とその周辺の古墳時代の実態を明らかにするための調査研究を行う。

イ 『埼玉県立史跡の博物館紀要』第17号の刊行

(3) 資料の調査・収集・整理・保管事業

ア 資料の収集

埼玉古墳群及び県内の史跡等に関する資料を収集する。

イ 資料の保管・管理

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」等の保存・保管のため、隔月で収蔵庫・展示室等の有害生物管理及び資料点検を行う。また、下記の期間で有害生物防除を行う。

実施期間：6月13日(火)～14日(水)

(4) 埼玉古墳群の保存・整備事業

ア 保存・整備

特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会を開催する。愛宕山古墳発掘調査、鉄砲山古墳整備事業基本設計、案内・解説板整備事業を実施する。

イ 埼玉古墳群特別記念講演会「二子山古墳の発掘調査成果とその意義」 7月29日(土)

二子山古墳の発掘調査の概要、出土した土器、埴輪について、最新の調査成果を紹介するとともに、埼玉古墳群や日本列島の中での二子山古墳の位置付けを考える。

藤野一之氏 (駒澤大学・埼玉考古学会) 「二子山古墳出土の土器とその特徴(仮)」

小泉玲子氏 (昭和女子大学教授) 「二子山古墳出土の線刻をもつ埴輪について(仮)」

宮原正樹 (当館学芸員) 「二子山古墳の発掘調査成果」

ウ 二子山古墳発掘調査報告書刊行記念シンポジウム「6世紀の東国史と埼玉二子山古墳―最新成果から描く継体朝前後の東日本―」 11月18日(土)

二子山古墳の発掘調査成果に関する発掘調査を振り返るとともに、古墳時代後期、6世紀前半という時代の日本列島の実像について、最新の研究成果から紐解く。

ナワビ矢麻 (埼玉県教育局文化資源課主任) 「埼玉二子山古墳の調査成果とその歴史的意義(仮)」

今西康宏氏 (高槻市立埋蔵文化財調査センター学芸員) 「今城塚古墳の調査成果とその歴史的意義(仮)」

早野浩二氏 (愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員) 「断夫山古墳の調査成果とその歴史的意義(仮)」

城倉正祥氏 (早稲田大学文学学術院教授) 「七輿山古墳と埼玉古墳群の歴史的意義(仮)」

河内春人氏 (関東学院大学経済学部准教授) 「継体朝前後の王権と東国(仮)」

若狭徹氏 (明治大学文学部教授) 「古墳からみた東国の6世紀史(仮)」

藤野一之氏 (駒澤大学講師・埼玉考古学会) 紙上報告「二子山古墳出土の土器とその特徴(仮)」

(5) 広報・学習支援事業

ア さきたま古代体験

- 「まが玉づくり」……………4月4日(火)～8月31日(木)
「火おこしに挑戦！」……………4月29日(土・祝)
「学芸員の仕事にチャレンジ！」……………5月7日(日)・7月17日(月・祝)・1月28日(日)
「中高生のための博物館仕事体験」……………8月5日(土)

イ 子供製作体験

- 「自分の好きな色にまが玉を染めよう」……………7月15日(土)・16日(日)
「オリジナル埴輪を作ろう」……………7月22日(土)・23日(日)

ウ 古墳群ガイドツアー…

- ① 埼玉古墳群ガイドツアー……………4月1日(土)・12月16日(土)・1月27日(土)
② キッズ古墳群ガイドツアー……………5月5日(金・祝)・3月3日(日)
③ 古典の日記念事業「万葉歌碑を巡る」……………11月4日(土)

エ テーマ展解説……………4月16日(日)・5月14日(日)

オ 企画展解説……………7月23日(日)・8月6日(日)・8月20日(日)

カ 史跡探訪……………10月21日(土)

キ さきたま講座

- 5月27日(土) さきたま講座①「東松山市の古墳時代」……………近江 哲(東松山市埋蔵文化財センター)
8月26日(土) さきたま講座②「埼玉古墳群の墳丘造出しに関する一考察」(企画展関連講座)……………中井 歩(当館学芸員)

ク 連携事業

- 5月13日(土) 世界遺産関連講座「「はにわの造形と技術—古墳時代の表現技法をさぐる—」」……………塚田 良道(大正大学文学部教授)

ケ 実習・研修会・報告会・見学会

- 博物館実習……………7月18日(火)～21日(金)、25日(火)～27日(木)
行田市小・中学校初任者研修 施設体験研修……………7月28日(金)
二子山古墳特別講演会……………7月29日(土)
埼玉県小学校中堅教員等資質向上研修(社会科)……………7月31日(月)
教員のための博物館の日……………8月2日(水)

コ 県民の日記念行事

さきたまミニ秋祭り……………11月14日(火)

サ 出前授業

- (a) 「なるほど！古墳時代～鉄剣の謎を解明しよう～」(国宝「金錯銘鉄剣」を中心資料とした古墳時代に関する授業) 〈小学6年生対象〉
- (b) 「作ってみよう！わたしだけのオリジナルまが玉」 (まが玉づくり体験授業) 〈小学4～6年生対象〉
- (c) 「作ってみよう！わたしだけのオリジナルはにわ」 (埴輪づくり体験授業) 〈小学4～6年生対象〉
- (d) 「古墳時代へタイムスリップ」 (古墳時代を中心とした歴史学習) 〈小学4～6年生対象〉

シ その他のアウトリーチ事業

総合教育センター一般公開外部機関展示……………10月中旬

ス さきたま体験工房

- (a) 「まが玉づくり(通年)」などの「体験コーナー」
図書・タブレットを使った考古学・文化財などの学習ができる「さきたま情報コーナー」などを活用した事業を実施する。
- (b) 自由研究コーナー「やってみよう！さきたまで自由研究」……………7月15日(土)～8月27日(日)

(6) ボランティアの育成

体験学習や講座等の運営、国宝展示室の解説、環境整備などの支援能力を高めるためにボランティア研修や意見交換会を実施し、積極的なボランティアの活用を図る。

(7) 関係団体との連携等

- ア 埼玉県博物館連絡協議会への加盟
- イ 関東地区博物館協会への加盟
- ウ 日本博物館協会への加盟
- エ 県政出前講座
- オ 全国風土記の丘協議会への加盟
- カ その他関係団体・民間企業との連携

(8) 管理運営事業

ア 博物館施設の充実

古墳群の環境整備、博物館の整備・充実を進め、博物館、将軍山古墳展示館及び移築民家の積極的な活用を行う。

イ 開館予定日程

臨時休館 6月13日(火)・14日(水)

臨時開館 5月1日(月)・8月14日(月)・11月6日(月)

改修工事のため休館 9月1日(金)～3月31日(日)

ウ 公園施設の維持・管理

公園施設の適正な維持・管理を行うとともに、安全で安心な公園環境づくりに努め、県民に快適な歴史空間の場を提供する。

(9) 「博学連携」を意識した学校教育との連携強化

ア 「主体的・対話的で深い学びの実現」「体験活動」を重視した出前授業の実施

児童生徒の学習意欲を高める教材提供の工夫や、児童生徒が対話によって思考を深める問題解決場面を設定した授業を実施する。

イ 児童生徒の思考を促す博学連携教材の開発

さきたま史跡の博物館ならではの教材を開発し、授業での利用の方法とともに県内小中学校に提案する。

(10) 地域教育機関・民間とのネットワークによる事業展開

ア 地域の教育機関との連携事業

県立総合教育センターや近隣市町村の社会教育施設、地元民間団体と連携し、研修や講座などの連携事業を展開する。

イ 地域の民間団体との連携事業

11月14日のさきたまミニ秋祭りを中心に、地域の民間NPO団体等と協力し、埼玉古墳群の一層のアピールを行うとともに地域との連携を強化する。

ウ 高校生・大学生ボランティアの受入れ

教育普及事業を中心に高校生・大学生ボランティアを積極的に受け入れ、活躍の場を提供するとともに、当館事業を一層充実させる。

12 入館者数等

(1) 令和4年度の状況

月別入館者数一覧

月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数			26	27	24	28	27	27	27	28	24	25	24	27	314
本館 有料 入館 者数	個人	一般	3,860	4,851	1,723	2,661	2,974	2,181	2,784	2,525	1,160	1,719	2,013	2,505	30,956
		学生等	125	187	55	86	158	106	68	97	39	66	83	113	1,183
	団体	一般	46	31	191	776	528	152	269	473	90	62	67	114	2,799
		学生等	1	22	0	22	31	1	1	0	0	0	0	0	78
	年間券	一般	1	5	1	2	1	1	3	3	1	5	1	9	33
		学生等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計			4,033	5,096	1,970	3,547	3,692	2,441	3,125	3,098	1,290	1,852	2,164	2,741	35,049
共通券入館者			2,476	3,287	1,221	2,012	2,038	1,549	1,990	2,243	864	1,129	1,421	1,598	21,828
無料入館者		小学生	1,639	2,308	4,221	3,234	2,422	3,775	2,670	2,504	1,395	1,288	1,855	586	27,897
		中学生	451	241	720	151	363	80	220	117	89	35	72	97	2,636
		その他	870	1,011	971	995	959	738	1,186	951	472	517	557	623	9,850
		小計	2,960	3,560	5,912	4,380	3,744	4,593	4,076	3,572	1,956	1,840	2,484	1,306	40,383
入館者総計			9,469	11,943	9,103	9,939	9,474	8,583	9,191	8,913	4,110	4,821	6,069	5,645	97,260

小・中学校団体見学数地域別一覧

	地 域	さいたま	南部	西部	北部	東部	県内計	東京	神奈川	千葉	静岡	栃木	茨城	群馬	県外計	合 計
小学校	学校数	2	28	9	8	20	67	86	9	0	5	0	0	3	103	170
	人 数	148	2,545	409	471	1,219	4,792	7,009	631	0	468	0	0	301	8,409	13,201
中学校	学校数	2	1	1	0	4	8	2	0	1	0	0	0	0	3	11
	人 数	55	16	128	0	301	500	87	0	338	0	0	0	0	425	925
その他	学校数	1	0	1	0	3	5	3	0	1	1	0	1	0	6	11
	人 数	13	0	43	0	35	91	64	0	12	300	0	10	0	386	477

※その他は、「高等学校」「大学」「特別支援学校」「保育園」等。 ※人数は、引率者含む。

(2) 年度別入館者数内訳

年 度		昭和44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
開館日数		120	295	297	296	294	292	295	294	294	296	288	284	281	291
個 人	一般	3,660	9,759	9,220	10,862	11,771	13,418	12,254	13,196	16,152	42,657	46,589	50,916	49,050	45,052
	学生等	2,837	5,975	5,774	5,930	7,071	7,152	6,354	6,839	8,016	16,236	18,566	19,733	17,611	17,537
団 体	一般	2,499	3,881	4,610	5,466	4,440	5,830	4,755	4,905	6,088	13,644	19,944	15,556	18,348	15,191
	学生等	962	1,604	3,637	3,897	3,372	4,771	3,733	4,294	4,953	6,770	11,319	8,629	9,869	10,685
小 計		9,958	21,219	23,241	26,155	26,654	31,171	27,096	29,234	35,209	79,307	96,418	94,834	94,878	88,465
共通券		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料入館者		8,853	21,907	27,949	38,372	45,698	56,347	54,842	57,020	74,277	99,729	107,636	89,025	110,371	112,165
入館者総計		18,811	43,126	51,190	64,527	72,352	87,518	81,938	86,254	109,486	179,036	204,054	183,859	205,249	200,630

年 度		58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8
開館日数		292	293	294	293	295	290	291	293	293	292	291	291	294	293
個 人	一般	45,352	41,648	42,416	45,705	44,059	42,593	45,506	46,744	46,693	45,060	41,463	35,379	33,062	33,462
	学生等	17,487	16,251	16,619	17,330	15,650	14,097	14,302	13,726	12,760	12,042	10,967	8,862	1,655	1,869
団 体	一般	15,083	12,643	11,086	10,860	11,528	13,851	9,093	9,190	7,294	8,763	5,091	3,578	3,097	2,336
	学生等	5,793	5,021	3,808	3,864	2,967	4,199	2,485	2,047	1,554	1,214	956	803	437	178
小 計		83,715	75,563	73,929	77,759	74,204	74,740	71,386	71,707	68,301	67,079	58,477	48,622	38,251	37,845
共通券		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料入館者		126,704	122,557	105,125	106,308	99,920	87,847	94,920	93,298	97,334	90,342	86,141	87,144	102,377	114,978
入館者総計		210,419	198,120	179,054	184,067	174,124	162,587	166,306	165,005	165,635	157,421	144,618	135,766	140,628	152,823

年 度		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
開館日数		294	293	293	296	298	298	297	298	301	312	316	313	314	311
個人	一般	43,637	34,378	29,992	26,173	26,449	25,928	27,915	23,123	23,415	22,633	20,496	27,866	26,577	23,323
	学生等	1,842	1,558	1,314	1,199	1,292	1,083	1,169	1,007	862	1,213	991	1,004	1,005	1,008
団体	一般	2,153	2,631	2,035	2,279	2,341	1,758	1,858	1,346	1,184	1,795	1,364	1,272	1,330	2,931
	学生等	316	165	250	142	99	205	41	41	127	51	16	196	96	26
小 計		47,948	38,732	33,591	29,793	30,181	28,974	30,983	25,517	25,588	25,692	22,867	30,338	29,008	27,288
共通券		18,671	15,134	13,594	12,085	13,081	12,698	12,236	10,993	12,060	11,774	10,204	15,670	14,253	12,256
無料入館者		149,682	113,405	104,683	90,284	84,215	73,800	75,653	62,250	64,604	67,539	66,966	65,347	68,570	61,923
入館者総計		216,301	167,271	151,868	132,162	127,477	115,472	118,872	98,760	102,252	105,005	100,037	111,355	111,831	101,467

年 度		23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	累 計
開館日数		313	314	313	314	313	313	313	315	287	186	314	314	
個人	一般	21,247	25,161	29,544	31,837	33,129	34,170	31,139	29,942	29,523	19,917	31,847	30,989	1,654,048
	学生等	885	1,068	987	1,212	1,228	1,160	1,064	979	889	634	1,174	1,183	348,258
団体	一般	3,693	3,362	7,246	7,953	7,680	8,136	7,327	6,365	8,270	673	2,167	2,799	340,598
	学生等	162	107	87	81	154	74	81	93	115	8	5	78	116,637
小 計		25,987	29,698	37,864	41,083	42,191	43,540	39,611	37,379	38,797	21,232	35,193	35,049	2,459,541
共通券		11,919	14,716	18,587	21,158	22,159	23,702	18,921	24,045	23,901	12,158	22,939	21,828	420,742
無料入館者		54,037	69,276	54,554	51,476	50,937	55,128	49,081	49,019	45,104	20,292	37,961	40,383	4,045,355
入館者総計		91,943	113,690	111,005	113,717	115,287	122,370	107,613	110,443	107,802	53,682	96,093	97,260	6,925,638

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)から令和2年5月31日(日)まで臨時休館

13 団体解説・ボランティア活動等(R4 年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体解説	一般	団体数	0	0	2	1	0	0	2	5	1	0	0	2	13
		人数	0	0	77	40	0	0	40	87	23	0	0	31	298
	学校	団体数	0	3	6	0	0	1	3	1	1	1	1	0	17
		人数	0	197	497	0	0	43	159	118	44	130	35	0	1,223
工房利用者		工房利用者数	541	928	830	1,112	1,207	561	656	742	399	241	373	405	7,995
		学校	74	173	362	181	0	123	192	176	34	0	66	0	1,381
		一般	136	181	67	168	351	99	96	183	62	66	66	100	1,575
		合計	210	354	429	349	351	222	288	359	96	66	132	100	2,956
レファレンス件数			26	37	7	10	34	16	26	31	6	3	26	33	255
ボランティア		学習支援	25	60	54	61	1	36	64	68	39	50	39	70	567
		展示解説	12	0	0	0	0	5	23	23	20	27	17	11	138
		環境整備	7	20	24	12	14	15	13	11	0	10	13	9	148
		合計	44	80	78	73	15	56	100	102	59	87	69	90	853

14 関係刊行物

「資料館報」No.1(昭和 45 年)～No.36(平成 17 年)	
「調査研究報告」第 1 号(昭和 63 年)～第 19 号(平成 17 年)	
「さきたま古墳群とその周辺」	(昭和 51 年 3 月)
「さきたま民俗暦」	(昭和 52 年 3 月)
「稻荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘概報」	(昭和 54 年 2 月)
「八幡山古墳石室復原報告書」	(昭和 55 年 3 月)
「埼玉稲荷山古墳」	(昭和 55 年 11 月)
「埼玉稲荷山古墳辛亥銘鉄剣修理報告書」	(昭和 57 年 3 月)
「北武蔵の農具」	(昭和 60 年 1 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第二集 鉄砲山古墳」	(昭和 60 年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第三集 愛宕山古墳」	(昭和 60 年 3 月)
「史跡埼玉古墳群保存修理事業報告書 稲荷山古墳」	(昭和 60 年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第四集 瓦塚古墳」	(昭和 61 年 3 月)
展示ガイド「さきたま古墳群と北武蔵の農具」	(昭和 61 年 3 月)
絵はがき「稲荷山古墳」	(昭和 61 年 3 月)
「歴史の道 調査報告書第七集 荒川の水運」	(昭和 62 年 3 月)
「歴史の道 調査報告書第八集 新河岸川の水運」	(昭和 62 年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第五集 二子山古墳」	(昭和 62 年 3 月)
「歴史の道 調査報告書第九集 入間川の水運」	(昭和 63 年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第六集 丸墓山古墳・埼玉 1～7 号墳・将軍山古墳」	(昭和 63 年 3 月)
88 さいたま博覧会協賛特別展図録「はにわ人の世界」	(昭和 63 年 3 月)
第4回国民文化祭 さいたま 89 協賛特別展図録「さきたま古墳群とその時代」	(平成元年 10 月)
「歴史の道 調査報告書第十集 利根川の水運」	(平成元年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第七集 奥の山古墳・瓦塚古墳・中の山古墳」	(平成元年 3 月)

第1回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「古墳の年代をはかる 一須恵器一」	(平成2年10月)
第2回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「くらしの中の神々」	(平成3年10月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第八集 二子山古墳・瓦塚古墳」	(平成4年3月)
展示ガイド「さきたまの古墳」	(平成4年3月)
第3回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「さきたま将軍山古墳と銅鏡」	(平成4年10月)
彩の国元年 さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「キツネは踊る～お米がたくさんとれますように～」	(平成5年9月)
「埼玉県古墳詳細分布調査報告書」	(平成6年3月)
展示ガイド「さきたまの古墳と民俗」	(平成7年3月)
将軍山古墳 《史跡埼玉古墳群整備事業報告書》「確認調査編・付編」及び「保存・整備工事編」	(平成9年3月)
将軍山古墳整備事業完成記念企画展図録 「古墳時代の馬の装い ーさきたまに馬がやってきた！ー」	(平成9年10月)
ガイドブック「さきたま」	(平成10年3月)
稲荷山古墳発掘調査30周年・金錯銘発見20周年記念事業特別展 図録「古代金石文と倭の五王の時代」	(平成10年10月)
稲荷山古墳発掘調査30周年・金錯銘発見20周年記念事業特別展 シンポジウム資料「ここまでわかった！稲荷山古墳」	(平成10年11月)
特別展図録「吉見の百穴と東日本の横穴墓」	(平成19年1月)
武蔵埼玉稲荷山古墳発掘調査・保存整備事業報告書	(平成19年3月)
史跡埼玉古墳群保存整備基本計画	(平成19年3月)
図録「「稲荷山」出現以前の古墳」	(平成22年3月)
図録「祈りとまじないの考古学」	(平成22年10月)
図録「スローフードの考古学 ～生活を支えた食と生業～」	(平成23年10月)
図録「原始・古代の職人集団」	(平成24年9月)
図録「古代の豪族～将軍山古墳とその時代～」	(平成25年9月)
シンポジウム資料集「埼玉古墳群の謎～東国をおさめた古代豪族～」	(平成26年1月)
「史跡埼玉古墳群奥の山古墳発掘調査・保存整備事業報告書」	(平成26年3月)
図録「ハニワの世界」	(平成26年9月)
図録「古墳の終焉と律令時代の幕開け」	(平成27年9月)

図録「埼玉の古墳1 一比企・入間」	(平成 28 年 9 月)
図録「埼玉の古墳2 一秩父・児玉・大里」	(平成 29 年 9 月)
「史跡埼玉古墳群 総括報告書Ⅰ」	(平成 30 年 1 月)
図録「埼玉の古墳3 一北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾」	(平成 30 年 9 月)
「史跡埼玉古墳群 稻荷山古墳礫櫛模型設置事業報告書」	(平成 31 年 1 月)
記念講演会資料集「さきたま あれから これから」	(平成 31 年 2 月)
「史跡埼玉古墳群保存活用計画」	(平成 31 年 3 月)
図録「徹底解剖！埼玉古墳群」	(令和元年 9 月)
「特別史跡埼玉古墳群 鉄砲山古墳発掘調査報告書」	(令和 2 年 3 月)
特別史跡指定記念式典・シンポジウム資料集「埼玉古墳群 史跡から特別史跡へ」	(令和 2 年 3 月)
指定記念限定ガイドブック「特別史跡埼玉古墳群」	(令和 2 年 3 月)
図録「盾持人埴輪の世界」	(令和 2 年 9 月)
報告書刊行記念シンポジウム資料集「鉄砲山古墳を掘る」	(令和 2 年 11 月)
「特別史跡 埼玉古墳群ガイドブック」	(令和 3 年 2 月)
図録「運ぶー埼玉古墳群とモノの動き」	(令和 3 年 7 月)
企画展関連シンポジウム資料集「埼玉古墳群とモノの動き」	(令和 3 年 9 月)
「特別史跡埼玉古墳群整備基本計画」	(令和 4 年 3 月)
図録「家形埴輪」	(令和 4 年 10 月)
「特別史跡 埼玉古墳群ガイドブック」第2版	(令和 4 年 12 月)
令和4年度シンポジウム「特別史跡埼玉古墳群のこれから」	(令和 5 年 3 月)
「特別史跡埼玉古墳群 二子山古墳発掘調査報告書」	(令和 5 年 3 月)
「館報」No.1(平成 18 年)～No.18(令和5年)	
「埼玉県立史跡の博物館紀要」創刊号(平成 18 年)～第 16号(令和 4 年)	

15 企画展等

企画展「吉見の百穴と東日本の横穴墓」	(平成 18 年度)
最新出土品展、企画展「考古学で学ぶ動物とのかかわり」	(平成 19 年度)
最新出土品展、企画展「古墳時代の優品」	(平成 20 年度)
最新出土品展、企画展「稻荷山出現以前の古墳」	(平成 21 年度)
最新出土品展、企画展「祈りとまじないの考古学」、テーマ展「さきたまのハニワたち」	(平成 22 年度)
最新出土品展、企画展「スローフードの考古学」、テーマ展「埼玉・あの遺跡この遺跡」	(平成 23 年度)
最新出土品展、企画展「原始古代の職人集団」、テーマ展「埼玉の原始・古代」	(平成 24 年度)
最新出土品展、企画展「古代の豪族」、テーマ展「形と文様」	(平成 25 年度)
最新出土品展、企画展「ハニワの世界」、テーマ展「縄文の不思議な世界」	(平成 26 年度)
最新出土品展、企画展「古墳の終焉と律令時代の幕開け」、新収蔵品展「～旧長瀬総合博物館からの寄贈資料～」	(平成 27 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳1ー比企・入間ー」、テーマ展「弥生の空間 ー実りと祈りー」	(平成 28 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳2ー秩父・児玉・大里ー」、テーマ展「律令国家がやってきた！」	(平成 29 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳3ー北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾ー」、テーマ展「埼玉の平安ー兵の目覚めー」	(平成 30 年度)
最新出土品展、企画展「徹底解剖！埼玉古墳群」、テーマ展「埼玉の中・近世ー発掘された道沿いの風景ー」	(令和元年度)
最新出土品展、企画展「盾持人埴輪の世界」	(令和 2 年度)
最新出土品展、企画展「運ぶー埼玉古墳群とモノの動き」、テーマ展「埼玉の遺跡 鴻巣市新屋敷遺跡ー埴輪工人の奥津城ー」	(令和 3 年度)
埼玉の考古おひろめ展、企画展「冢形埴輪」、テーマ展「埼玉の遺跡 東松山市反町遺跡 ー時代を彩る職人のムラー」	(令和 4 年度)

16 利用案内

(1) 博物館関係

ア 開館時間

(ア) 下記以外は、午前 9 時～午後 4 時 30 分。(入館受付は、午後 4 時まで。)

(イ) 7 月 1 日～8 月 31 日は、午前 9 時～午後 5 時。(入館受付は、午後 4 時 30 分まで。)

イ 休館日

(ア) 月曜日(その日が国民の祝日、振替休日、県民の日又は 4 月 29 日～5 月 5 日である場合を除く。)

(イ) 年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

ウ 観覧料等

(ア) 観覧料(本館及び将軍山古墳展示館共通)

区 分	個 人	団体(20 人以上)	年間観覧券
一 般	200 円	1 人につき 120 円	1,200 円
学生・生徒(高校生)	100 円	1 人につき 60 円	600 円

※ 義務教育終了前の方は、無料

※ 身体障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者(障害者 1 人につき 1 人)は、無料

※ 教育課程に基づく学習活動として観覧(幼稚園、保育所を含む。)する学生・生徒・引率者及び下見見学者は、無料

※ 調査を目的として観覧する方及び研修会の引率者は、無料

※ 埼玉県(教育委員会を含む。)が主催する職員対象の研修会等の参加者は、無料

※ 年間観覧券で、県立嵐山史跡の博物館にも入館できる

(イ) 特別利用料金

熟 覧	1 点 1 日につき	1,250 円	模写・模造	1 点 1 日につき	2,500 円
撮 影	1 点カットにつき	4,180 円	原版使用	1 点につき	3,130 円

※ びょうぶは、1 隻を 1 点、一揃いをなす卷子は、1 巻を 1 点、掛軸は、一幅を 1 点とし、その他の資料は、各個を 1 点とする。

※ 国・県・市町村等が主催する文化、教育に係わる事業等の場合は、免除又は減額となる。

(2) 公園施設関係(5ページ図参照)

埼玉県都市公園条例等により、次のとおり定められている。

ア 利用手続

「物品の販売、興業その他の営業行為」、「業として写真又は映画等を撮影」等の行為については、埼玉県都市公園条例第 9 条第 1 項により、知事の許可が必要である。

なお、公園内は、文化庁から史跡に指定されており、穴を掘る行為や表土を傷付ける作為はできない。

イ 利用料金(入場料又はこれに類するものを徴収しない場合)

物品の販売その他の営業行為をする場合	1 m ²	半日	7 円	1 日	14 円
興行を行う場合	1 m ²	半日	8 円	1 日	17 円
業として写真を撮影する場合	1 件	半日	360 円	1 日	740 円
業として映画等の撮影を行う場合	1 件	半日	14,800 円	1 日	29,800 円

※ 埼玉県都市公園に関する規則別表第 1 の抜粋

(3) 交通案内

- ア JR 高崎線「吹上」駅下車、朝日バス「佐間経由行田折返し場・総合教育センター・工業団地」行きに乗車、「産業道路」下車、徒歩 15 分
- イ 秩父鉄道「行田市」駅下車、「新町 1 丁目」から朝日バス「佐間経由吹上駅」行きに乗車、「産業道路」下車、徒歩 15 分
- ウ JR 高崎線「行田」駅下車、市内循環バス(1 日 9 便「観光拠点循環コース」)「JR 行田駅前」から「埼玉古墳公園前」下車、徒歩 2 分
- エ JR 高崎線「北鴻巣」駅下車、さきたま緑道 4.8 km



埼玉県のマスコットコバトン

館 報 第 18 号
令和 5 年 6 月 16 日刊行

埼玉県立さきたま史跡の博物館
〒361-0025 埼玉県行田市埼玉 4 8 3 4

TEL 048-559-1111 (総務)

048-559-1181 (学芸)

FAX 048-559-1112

<https://www.sakitama-muse.spec.ed.jp>

E-mail: k591111@pref.saitama.lg.jp